



## あなたのカウントダウンは、いつから？

奈良橋 陽子 Narahashi Yoko

70年代始めに海外から帰国してきた時、日本人の英語コミュニケーションレベルは大変低いと感じました。私の経験から、演劇や音楽を通して身体を使って英語を習うやり方が最も効果があると考えていましたので、幼児期からその方法で英語学習を始める環境を提供できたらと願い、1974年に英会話スクール、モデル・ランゲージ・スタジオ (MLS) を共同設立しました。頭と身体と心を全部使って、楽しんで英語を学ぶ！という指導法です。

80年代になって、より演技や演劇のトレーニングに特化した、新たな会社ユニテッド・パフォーマーズ・スタジオを設立し、以降はそちらでの仕事を中心にりましたが、それでももちろん、日本における英語教育についてはずっと関心を持ち続けていました。90年代からは海外映画作品のキャスティング等の仕事で日本を離れることも多くなりましたが、日本人の英語コミュニケーション力は年々アップしているものと信じていました。

そして数年前、改めて英語教育の様子や実態を調べる機会があったのですが、日本はより保守的になっていて、若者の英語を話そうとか学ぼうという意欲が全体的に減少していると聞き、驚いてしまいました。10年前に比べ、海外で英語を学びたいという人、実際に留学する人の数が極端に減っているというのです。国際的な統計を見ても、日本の英語力はアジアの他の国の中でもかなり低い方にランキングされていると聞きました。

根本的に、英語を習う目的・必然性がなければ、上達意欲はなかなか維持できないと思います。何かに深い興味があって、それに英語が関係していると

効果的ですね。

今、日本人はどこか受け身になっているのかもしれませんが。情報は全てインターネットにつながる指先にあって、自分から進んで旅したり、人に会ったりする必要を感じなくなってきているように感じます。

心が何を求めているのか、自分自身の意欲をまず確認して、また探し出して、それに英語を関連づけていくというのはどうでしょう？ その意欲をもって、自分が心から欲しいと思うものを手に入れる旅に出かけましょう。そしてその過程で、英語を友達にしてください。

ある人は会社で、英語を学ぶという意志表示を書いたプラカードを首から下げて、100日間のカウントダウンを始めました。私は彼に、100日より1000日にしたら、と言いましたが、その意志表示を見た周りの人たちは皆、彼に達成してほしい、彼を応援したいという気持ちになりました。彼がその目標を達成した暁には、彼だけではなく私たち全員が、Champagne Time! ですね。

あなたのカウントダウンは、いつから始めますか？

### ならはし ようこ

国際基督教大学卒。NYで演劇を学び、数々の舞台を演出。映画監督、キャスティングディレクター、作詞家、俳優養成所・アップスアカデミー芸術監督等、多彩な顔を持つ。2013年にプロデュースした米映画「終戦のエンペラー」が話題に。